

令和4年度 富県小学校グランドデザイン

学校（教育）目標 「自立共同の力を高める子ども」

○よく考え、やりぬく子ども ○仲よくみんなと支え合う子ども ○いつも明るくじょうぶな子ども

伝え合い	認め合い	心・体づくり
◎心を寄せて聞いたり話したりできる ◇友だちの考えを聞き、自分の考えを見返し対話、考えの再構築・表現力育成 ◇学習集団力の向上	◎個性尊重・寛容の心を育てる ◇人権教育の充実 ◇ともに活動し学ぶ楽しさ ◇児童会活動の充実	◎意欲を持ち継続できる ◇体力の向上、強い意志 ◇仲間意識の高まり ◇健康に関わる意識

相手意識を高めて	相互に向き合って	体づくりは心づくり
・はじめに「あいさつ」 ・授業中（各教科、特別活動等）で、伝え合う場面を位置づけ ・全校集会、児童会活動での伝え合い ・生活場面、縦割り活動等での伝え合い	・「おたがいさま」「ドンマイ」等の合い言葉 ・ルールを守り、思いやる仲間 ・児童会目標「笑顔でいっぱい」を大事にした活動	・体づくり運動、がんばるマラソン（業間） ・歯の日（歯の健康チェック） ・クライミングウォール ・全校高鳥谷山遠足

全校研究テーマ「さまざまな子どもに 学びやすさを与える指導の工夫」



子どもの学力向上のための四階層

第一層 安心安全の居場所づくり

- ①保小連携による入学前からの子ども理解 ②子どもの生活上の困難性を体験・理解する職員研修
③子ども理解の尺度（Q-U.学校アンケート）に基づく学級づくり④支えたい子への適切な支援・居場所の提供

第二層 全教職員の支援力向上

- ①子どもの支えどころを発見するアセスメント（学級観察、WISC等）②ユニバーサルデザイン指導法の研修
③模擬授業で研修と教室実践の往復④学年会・職員会議・校内支援委・支援会議で情報共有・指導方針決定

第三層 基礎学力・体力の保証

- ①第二層の情報・指導法を元にした指導法の工夫（ユニバーサル5）②端末を活用した学習の個別化
③からだづくりの時間・富小タイム等 特設時間の指導④NRT・全国学テ・体力テスト等からフィードバック

第四層 将来的な課題を解決する力の育成

- ①子ども自身の自己理解力の向上（何が得意か、苦手はどうするか＝学習の個性化）
②集団生活上の課題発見能力の育成（学級の課題から学校の課題へ）
③集団生活上の課題解決能力の育成（授業・学級会・児童会等における対話的活動）
④以上を子どもが「主体的に」行うための協働の力の育成

特色ある教育

- 【縦割り班（なかよし班）活動】
・スマイルタイム・なかよし集会でのふれ合い
【交流活動】
・富県保育園との交流・姉妹学級
・富県ふるさと祭りでの交流
【食育の推進（くらしの中の食）】
・栽培活動、調理活動、農業体験活動、草取り、命をいただく
【全校での活動】
・全校高鳥谷山遠足 等

家庭・地域と共に

☆信州型CS「とみがたっ子応援団」の推進

【ボランティア活動】

- ・えがおみまもり隊
・ふるさと学習「地域講師」
・行事参加（遠足等）
・読み聞かせボランティア

【PTA・同窓会による支援】

- ・学校内外の環境整備等

【地域から学ぶ・地域を学ぶ】

- ・地域に目を向けた学習、伝統
・「御殿場遺跡」「井筋の歴史」「富県の産業」等

